

登録コード	E7203300	開講年度	2026				
授業科目	生涯スポーツ概論					担当教員	橋本 政晴
英文授業名	Introduction of Lifetime Sports					副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	金曜・2時限		対象学生
講義室	教育N104講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				生涯スポーツを思考・実践する際の専門的な視点を培う。		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				生涯スポーツに関わる実践的な論理を理解し、その論理を用いて思考することができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	本授業は、生涯スポーツの「正しいあり方」を学ぶものではない。国内の各地域社会で展開されてきた生涯スポーツの事例をもとに、その歴史的な背景や現在までの取り組み状況や諸問題、そして未来に向けた課題などについて考察することを通じて、「生涯スポーツの考え方・捉え方」を理解することをねらいとする。						
(5)授業計画	第01回：生涯スポーツという視点 第02回：生涯スポーツの歴史的展開 第03回：地域生活におけるスポーツクラブ 第04回：地域生活における総合型地域スポーツクラブ 第05回：地域生活におけるスポーツイベント 第06回：生涯スポーツと五輪との接点 第07回：地域生活における長野五輪の遺産 第08回：地域生活におけるプロスポーツの社会的位置 第09回：地域生活におけるゴルフ場 第10回：地域生活におけるスキー場 第11回：地域生活におけるスケート場 第12回：地域生活における野外活動施設 第13回：生涯スポーツとしての山のスポーツ 第14回：生涯スポーツとしての川・湖・海のスポーツ 定期試験						
(6)成績評価の方法	毎回の授業で出された課題に対する小レポートの提出を成績評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。						
(7)成績評価の基準	小レポートの評価基準は次の通りである。 問題の背景を理解し説明ができている。 問題にどのような課題があるのかを指摘できている。 指摘した課題について社会的・学術的な知識を用いて考察できている。 自分の意見を説得的に提示できている。 まで達成している場合＝「水準にある（可）」 まで達成している場合＝「やや上にある（良）」 まで達成している場合、「かなり上にある（優）」 まで達成している場合、「卓越している（秀）」						
(8)事前事後学習の内容	講義前までに当日のテーマに即した情報収集してくることを事前学習とする。 各回に学んだ内容を次回までに復習することを事後学習とする。 90時間講義内の学習に加え、60時間以上の講義時間外学習が必要となる。						
(9)履修上の注意	受講生の出身地域に関わることや出身地域のスポーツについて発言を求められることがあるので、当該自治体のHPや生涯スポーツ等について事前に情報を収集しておくことが望ましい。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	授業についての質問は、授業時間内とその前後に随時受け付ける。 履修や授業内容に関する質問はメールにて相談を受け付ける。						
【教科書】	指定しない。適宜資料を配布する。						
【参考文献】	松村和則『地域づくりとスポーツの社会学』道和書院。 松村和則(編)『山村の開発と環境保全』南窓社。 松村和則ほか(編)『「開発とスポーツ」の社会学』南窓社。						